

事業番号	09 04 08	事業改善シート (31年度実施事業分)	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	S25 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり			

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川湖沼漁業では外来魚及びカワウ等魚食性鳥類による食害、並びに魚病等による水産資源の減耗がみられる。種苗放流だけに頼らない増殖手法の開発が求められている。</li> <li>養殖業では魚病被害がみられ、その対策が求められている。信州サーモンに続き信州大王イワナもブランド魚としての地位確立が求められている。さらに新たな養殖品種開発を継続する必要がある。</li> <li>県内の漁協は水産資源の減耗、遊漁者の減少、組合員の高齢化と減少等により経営が厳しい。水産資源の回復はもとより、経営の効率化が必要である。</li> </ul>	31年度 予算額	83,252 千円
			職員数
目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業における水産資源の持続的有効利用及び漁場の活性化、並びに地消地産の一翼を担い、求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現を目指す。 (主な実施内容:水産資源の保全、漁業秩序の維持、確かな漁協経営の指導、養殖業の発展、水産業の振興に資する試験研究と技術開発及び技術指導並びに種苗生産など)		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	31要求	31予算案	指標及びその達成状況						
						No	成果指標	29年度末	30年度末(見込)	31年度		
予算額	前年度繰越	86,220										
	コスト	当初予算	82,062	80,231	83,420	83,252						
補正予算		-1,756										
合計(A)		166,526	80,231	83,420	83,252	①	研究目標達成率	17%	17%	18%		
一般財源		44,107	42,782	43,584	43,416	②	信州ブランド魚生産量	401トン	420トン	420トン		
ト	県債	42,000	1,000									
	国庫支出金	46,176	3,730	3,811	3,811							
	その他	34,243	32,719	36,025	36,025							
	決算額(B)	165,448										
概算人件費	職員数(人)	29.50	29.50	29.50	29.50							
	概算人件費(C)	239,009	239,009	239,009	239,009							
	概算事業費(B(A)+C)	404,457	319,240	322,429	322,261							

成果指標 設定理由	① 長野県の水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上のための研究課題について進捗状況を評価できる指標として設定 ② 県内養殖業の振興、特に信州ブランド魚の生産及び消費拡大を図るため、その目標として設定
--------------	---

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	・水産試験場運営費について、事務用パソコンの調達方法を見直すこととし、経費を減額
--------------	--

2 事業を構成する細事業の内容

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数(人)	30年度(当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
1	外来魚等食害防止対策事業	外来魚やカワウ等による漁業被害等防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助等を行う。	0.90	1,852	1,852	1,852
2	諏訪湖環境改善対策事業	漁場活性化のため、取組検討を行う(アドバイザー経費)。	0.90	74	74	74
3	信州産魚介類消費拡大推進事業	県産魚介類消費拡大のため、PR資材の作成、配布を行う。信州ブランド魚、ます類養殖現場の現地見学会を実施する。	0.90	553	469	469
4	釣リズム信州推進事業	釣りによる漁業振興及び地域振興のため、釣りを核とした地域振興の企画立案の助言・指導を行う。PR用にのぼり旗を作成する。	0.90	174	275	275
5	漁業指導事業	円滑な漁業調整等及び漁協運営の健全化を図るため、内水面漁場管理委員会の開催、漁協の指導、検査を行う。	0.90	1,568	1,568	1,568
6	水産試験場運営費	水産試験場の円滑な運営のため、保守及び維持管理等行う。	4.70	37,605	37,520	37,352
7	水産試験場試験研究費	水産業の育成と河川湖沼環境の保全のために技術開発を行う。	8.50	12,168	13,649	13,649
8	水産試験場技術指導費	「安全・安心な食品づくり」を推進するため、魚類防疫技術、養魚管理技術及び河川湖沼の漁場管理技術等の普及指導を行う。	4.60	3,577	3,693	3,693
9	水産試験場種苗開発費	水産資源の増大及び養殖業の発展のため、河川湖沼放流用及び養殖用種苗の生産、供給を行う。	7.20	22,660	24,320	24,320
合計			29.50	80,231	83,420	83,252

## 事業改善シート附表

□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検

事業番号	事業名	水産振興事業				部局	農政部		課・室		園芸畜産課	
09 04 08	細事業名	項目	実施方法	31年度 実施内容（予定）	31年度 実施内容（実績）	31年度 実施 状況	29年度	30年度	31年度			
							当初 （千円）	当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
1	外来魚等食害防止対策事業	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業を推進するため、調整等事務を行う。			174	171	171	171		
1	外来魚等食害防止対策事業	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚等による漁業被害防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助（補助先：漁協等）を行う。			1,681	1,681	1,681	1,681		
2	諏訪湖環境改善対策事業	漁場活性化のための取組検討	直接	漁場の活性化のための取組についてアドバイザーから助言を得る。			74	74	74	74		
3	信州産魚介類消費拡大推進事業	信州のおさかなPR事業	直接	県産養殖魚、河川湖沼魚介類消費拡大のため、PRパンフレットを増刷・配布する。			0	553	376	376		
3	信州産魚介類消費拡大推進事業	魚の魅力普及事業	直接	信州ブランド魚、ます類養殖現場の現地見学会を実施する。			0	0	93	93		
4	釣一リズム信州推進事業	信州の釣りPR事業	直接	イベント時や釣り場に掲示するPR用のぼり旗を作成する。			1,109	0	101	101		
4	釣一リズム信州推進事業	遊漁振興推進指導事業	直接	釣りを核として内水面漁業や観光等の振興を図ろうとする地域に対して助言・指導を行う。			250	174	174	174		
5	漁業指導事業	内水面漁場管理委員会の運営	直接	円滑な漁業調整を図るため、内水面漁場管理委員会を開催（3回）する。			1,218	1,218	1,218	1,218		
5	漁業指導事業	漁業指導調整事業	直接	適正な漁場管理を図るため、漁業協同組合の法令遵守等を指導（国庫1/2）する。			257	257	257	257		
5	漁業指導事業	組合検査指導事業	直接	健全な漁協運営を図るため、漁業協同組合の業務、会計状況の検査（13漁協）を実施する。			53	53	53	53		
5	漁業指導事業	漁場利用調整事業	直接	円滑な漁業調整を図るため、漁業権者の申出に基づく協議会を開催する。			40	40	40	40		
6	水産試験場運営費	運営費	直接	水産試験場の円滑な運営のため、保守及び維持管理、予算の執行を行う。			37,245	37,605	37,520	37,352		
7	水産試験場試験研究費	増養殖技術の改良・確立	直接	増殖技術の高度化のため、以下の試験研究を行う。 ・アユの疾病対策 ・溪流魚への温暖化緩和技術の開発 ・特定疾病対策研究 ・ワカサギの遊漁利用技術開発			6,635	5,454	5,616	5,616		
7	水産試験場試験研究費	市場性の高い品種の開発	直接	品質の良い養殖魚を生産するため、以下の試験研究を行う。 ・信州ブランド魚の開発・品種改良 ・信州ブランド魚の高品質生産技術開発 ・ニジマス海面飼育用種苗開発試験			2,606	4,606	5,525	5,525		
7	水産試験場試験研究費	水産環境の保全	直接	水産資源の保護培養のため、以下の試験研究を行う。 ・外来魚駆除技術開発 ・諏訪湖の漁業安定化技術開発			1,827	2,108	2,508	2,508		

事業番号	事業名	水産振興事業				部局	農政部		課・室	園芸畜産課			
09 04 08													
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	31年度 実施内容（予定）	31年度 実施内容（実績）	31年度 実施 状況	29年度	30年度	31年度				
							当初 （千円）	当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
8	水産試験場技術指導費	養殖漁業指導	直接	養殖業の発展を図るため、魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する指導及び養魚場巡回指導を行う。また、養魚技術講習会を開催する。			3,055	2,431	2,547	2,547			
8	水産試験場技術指導費	河川湖沼漁業指導	直接	河川湖沼漁業の発展を図るため、外来魚対策など環境保全指導、増殖手法の普及や漁場管理の指導を行う。また、漁場管理講習会を開催する。			913	512	512	512			
8	水産試験場技術指導費	寒天製造技術指導	直接	良質な天然寒天の安定生産を図るため、製造期の巡回指導、原藻の性状分析、製品等の依頼分析を行う。			646	634	634	634			
9	水産試験場種苗開発費	ニジマス種苗供給	直接	養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵130万粒、不用魚100kg			2,909	2,909	2,964	2,964			
9	水産試験場種苗開発費	在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚40万尾 イナ普通卵10万粒、信州大王イナ稚魚7.0万尾			7,291	7,291	8,737	8,737			
9	水産試験場種苗開発費	アユ種苗供給	直接	河川湖沼における水産資源の増大、養殖魚の品質向上のため、以下の種苗供給を行う。 ・アユ種苗の供給 稚魚70万尾、大型稚魚10万尾			10,351	8,079	8,186	8,186			
9	水産試験場種苗開発費	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	河川湖沼における水産資源の増大、養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚80万尾、稚魚10万尾、未成魚600kg ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ稚魚30万尾、ウグイ大型稚魚100kg フナ親魚1.2トン			3,371	4,381	4,433	4,433			
	新たなブランド魚振興事業	PR資材の作成・配布	直接	—			357	0	0	0			
<b>合 計</b>								82,062	80,231	83,420	83,252	0	0